

3
書 く
文章を推敲する 〔確認〕
名前
解 答

『推敲』のポイント

内容面

自分の言いたいこと（主題）がわかりやすく書けているか。
 言い足りないところや、よけいなところはないか。
 主張などの根拠となる具体例は適切か。
 全体の構成が、読み手に分かりやすいものになっているか。

・段落ごとにまとまりがあるか。
 ・文と文、段落と段落のつながり方は適切か。
 読み手に分かりやすい言葉や表現を用いているか。

形式面

常体（…だ・である）と敬体（…です・ます）が交ざった文章になっていないか。
 ・普通はどちらかに統一する。（表現効果を考えて、わざと一部分だけ変える場合もある。）
 ・文法的な間違いはないか。
 ・主語・述語の係り受けはおかしくないか。
 ・副詞の呼応に間違いはないか。
 ・句読点や符号の使い方は適切か。
 漢字や仮名づかいを間違えていないか。送りがなは正しいか。

身に付けると...

自分が書いた文章を見直して、読み手に分かりやすい文章を書くことができます！

自分が書いた文章を評価して読むことができます！

やってみよう 「解答と解説」

一 私が大切だと思ふこと

- ・書き出しに注目します。「私が大切だと思ふことは」という書き出しなので、題材はこれになります。
- ・最初に自分が書こうと思う題材を示すことで、読み手に伝えたいことが明確に伝わります。

二 班ごとの練習をしてくれたりした。

- ・「…たり」は並列を表す接続助詞で、「…たり、…たり」の形をとります。その形に合うように書き直します。

三 私のクラスは（私たちのクラスは または クラスは でも可）

- ・主語が省略されていて意味が通る文になっていきます。ここでは優勝したのは誰かということを考えて省略されている主語が分かります。

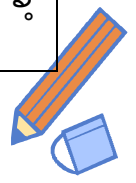
四 そ う だ

- ・人から伝え聞いた内容にするためには、伝聞を表す助動詞「そうだ」を使います。
- ・日本語は文末表現の違いで内容も印象も違ってきます。よい文章を書くために、最後まで気を抜かず書くように心がけましょう

五 協力することだ。（協力だ。）

- ・この文の内容を変えずに主述の関係を整えるためには、「私が大切だと思ふこと」に対応する言葉でむすびます。

六 覚えている。



- ・この部分だけ敬体（…です・ます）で書かれているので、他の部分の書き方に合わせて常体（…だ・である）に書き直します。